



平成31年 3月 8日

九州地方整備局

九州技術事務所

～進む防災イノベーション～  
**災害現場を迅速に3Dモデル化！**  
(本格導入に向けて実証実験を実施します)

九州技術事務所では災害現場を迅速・正確に全自動で3Dモデル化する技術の実証実験を実施いたします。

災害現場の対応・復旧をする際に、3Dモデルは非常に有効です。しかし高度なスキルやソフトウェア・ハードウェア等が必要であり、また時間や費用を要します。

そこで九州技術事務所では誰でも簡単に1台の装置だけで、従来の十分の1程度の時間で災害現場を3Dモデル化する技術の実証実験を実施します。

**【実験概要】**

従来は、「レーザ測量」、ノイズを除去する「フィルタリング」、複数の計測データを合わせる「レジストレーション」、データから3Dモデルを作成する「メッシュモデル化」の作業が必要でした。

本実験に用いる実証実験専用装置では、これらの一連の作業をほぼ自動化することができ、高度な技術やハードウェア・ソフトウェアを用いることなく3Dモデルを迅速に作成することが可能です。実証実験では九州技術事務所内に災害現場を想定した盛土を設置し、実際に3Dデータを作成・体験できます。

またスマートフォンで動画を取るだけで災害現場を測量できる技術についても、併せてご紹介いたします。

- 日 時：平成31年3月13日（水） 15時00分～16時00分
- 場 所：国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所 研修所二階 小教室

**【お問合せ・取材申込み】**

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所  
〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号  
TEL0942-32-8245（代表）  
技術情報管理官 房前 和朋（内線303）

\* 事前の申込みがなくても取材可能です